

# デマンド交通の運行と地域独自のポイントカードを結びつけた収益還元モデルの構築

## 「交通」×「買い物」(北海道江差町)

### 事業実施主体

- 【共創プラットフォーム】江差町地域公共交通活性化協議会
- 【運送事業主体】江差町
  - ※ 桧山ハイヤー(タクシー事業)、函館バスに運行委託
- 【共創パートナー】サツドラHD(ドラッグストア) 等

### 地域課題

- ・海岸沿いに集中するバス路線を除く地域における交通空白
- ・高齢者を中心に通院や買い物に不便が生じている状況

### 実証事業の内容

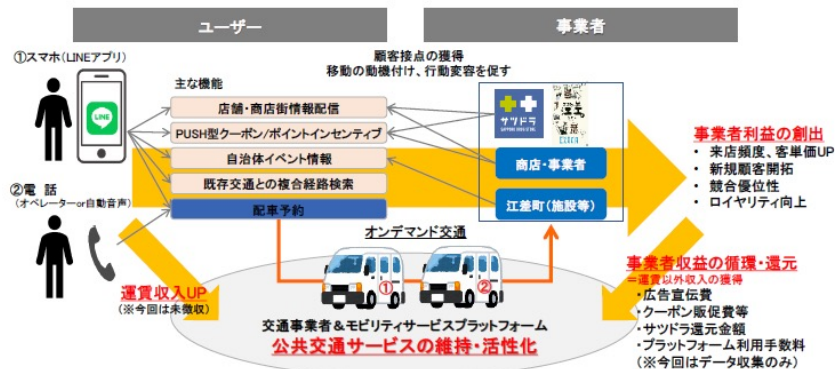
- ・**交通空白地の解消**と、**買い物を中心とした外出促進**を図るため、オンデマンド交通の利用者に対し、町と包括連携するサツドラHDが**買い物**に使用可能なクーポン配布等のサービスを提供。
- ・デマンド乗車時に必須となる、サツドラHD発行の地域ポイントカード(江差EZOCA)利用時の**買い物額の0.2%が町に還元**される仕組みを活用し、**地域内の移動・買い物がデマンド運行を支える収益モデル**を構築。

### 今後の展開

- ・EZOCA加盟店や協賛企業も増やしつつ、LINEアプリを活用した広告導入を検討。

### ＜事業スキーム＞

#### 2-2 サービス全体イメージ



公共交通の維持・発展が図られる事業の継続性に考慮したサービス  
 ⇒ オンデマンド交通による交通事業者の運行効率化・運賃収入以外の収益確保  
 サツドラHDとの共創により生まれる、「移動」×「買い物」の地域経済の活性化をもたらす収益循環モデル  
 ⇒ 実証化に向けて交通事業者や自治体の補助金など単独事業者(自治体)の負担に頼らない、異業種との連携による運賃以外の収入を得るサービスモデルを構築

### ＜事業体制＞

項目	内容	補足
実証期間	2か月間(令和4年12月～令和5年1月)	・事業者の業務体制と調整し運行日時を決定
運送形態	オンデマンド交通 ※ 運行時間内において自宅・設定した乗降地点間を利用者の予約時刻に応じて送迎	・町内の商業施設等を乗降地点に設定し、AIによる配車計算システム(SAVS)を活用し運行・フェリー乗り場を乗降地点化することでフェリー利用者の乗車も想定
運送事業者	① 有限会社桧山ハイヤー ② 函館バス株式会社	
運送車両	① ジャンボハイヤー(定員10名) ② ワゴン車両(トヨタハイエース/定員10名)	・①は自社車両、②はレンタカーによる車両手配を想定
運賃	無料	・利用者データの分析のため、利用者によるEZOCAカードの所有を義務化
配車予約	① 携帯端末(スマホアプリ・電話(自動音声))による予約 ② 電話予約	・①は株式会社未来シェア開発のシステムを、②はオペレーター業務を函館バスに業務委託
対象エリア	江差町内全域	・町内をAエリア、Bエリアに区分けし、各エリア内での運行

